



# 自治会だより

2019  
初夏号

～世代超え 気持ち繋がる  
ふるさとへ～

## 白岡ニュータウン自治会

新会長 半沢 茂



## 新年度によせて

第31回通常総会にて、新会長に選任されました半沢茂です。折しも、令和の幕開けと期を一にし、それを寿ぐと共に、心の引き締まる思いです。さて、私は宮城県の片田舎で農家の8人兄弟の四男として終戦直後この世に生を受けました。転勤で全国各地にお世話になった時、自分の故郷と「言葉」「景色」「風俗習慣」の違いに驚嘆いたしました。

今、縁あって白岡の地に「終の棲家」を見つけ14年経ちました。「挨拶と花と緑の明るいニュータウン」何と響きの良いスローガンでしょう。ちよつと田舎臭く、少し都会的なこの街を私は好きです。西に霊峰富士山、北に男体山、東に筑波山、南に大都会東京、そして荒川、利根川に囲まれています。なんと贅沢な環境でしょうか。私は私の3人の子供達に「君たちの故郷は何処だ？」と聞いたことがあります。それぞれが小さい時遊んだ懐かしい友達顔と共に花と緑に覆われた公園を含む景色などに「故郷」を感じると言います。そして今、子供たちが新白岡の地において「故郷」を感じるような環境を皆様と共に創りたいと考えております。一緒にやってみましょう。



自治会を動かす  
うらぶ





## 第31回 通常総会＊報告＊質疑



### 第31回自治会通常総会報告・質疑

総務部長 増田 健

第31回通常総会並びに自主防災会第5回通常総会が4月29日(月)白岡東小学校で開催されました。加藤議長選出後、出席232人、委任状651と合わせ883戸であり、総戸数1,424戸の過半数を上回り、本総会が成立している旨の報告がありました。

自治会の30年度活動報告、決算及び、監査報告を経て2019年度の新役員が発表、賛成多数で承認されました。役員選任後、半沢新会長より2019年度活動方針(案)が詳しく説明、引き続き担当部長より活動計画(案)、予算(案)の説明。賛成多数で承認されました。

【自治会関連】  
CATV口積立預金が

8,000万円以上ある。世帯当たりの年間負担金は、3,000円に減額する等の検討をお願いしたい。

Q CATVについては、委員会や役員会でも時間をかけて検討してまいりたい。

Q ニュータウンふるさと祭り10月開催について。班会議などを参考に事業部中心に今後の役員会でも検討します。

Q 今年度予算については、前年度の決算状況や今年度計画を考え予算を組むものであり、予算対予算の比較では中身がわからない。予算について、決算額と比較できるように、次回から改めます。

Q 花と緑の会では、10月のふるさと祭り、12月のりんご販売に合わせて花の販売を行いたい。

Q 他事業と一緒に実施する方向で考えています。班会議予算の補助について伺いたい。

Q 一世帯あたり1,200円とし、出席世帯数にこの額を掛けた額を補助、使い方については各班に任せている。

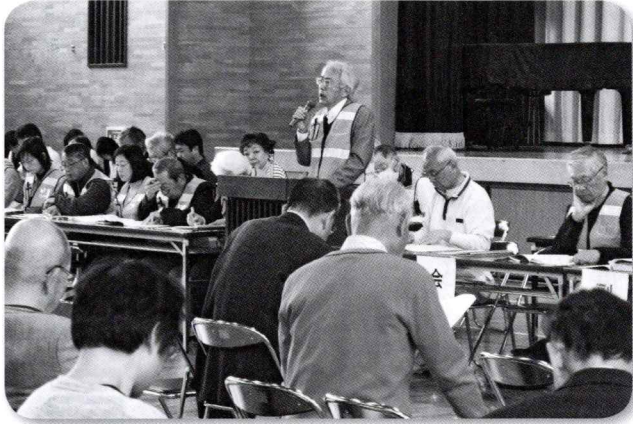
Q 班会議で提案のあった意見や希望等について集約し、総会などの機会をとらえて会員に知らせてほしい。

Q 承知しました。検討してまいります。資源回収について、HP、TV、会報などでPRしているが、より徹底してはどうか。

Q 検討してまいります。



## 第5回 自主防災会＊報告＊質疑



### 第5回自主防災会通常総会報告・質疑

自主防災会副会長 吉井 健

4月29日（月）に平成最後の第31回自治会通常総会に引き続き、第5回の自主防災会通常総会が東小体育館で開催されました。議長は自治会総会に引き続き自治会から加藤役員が担当されました。

総会の議題は例年どおり、最初に平成30年度の活動報告と決算報告、監査結果と平成31年度の新役員承認、平成31年度の活動計画と予算の順で審議され、概ね原案通り可決、承認されました。

質疑は、2点ありました。

Q

収入の部の補助金戻し入力はマイナスで書かれているが、支出に入れた方がいいのではないかと。

A

来年度からそのようになります。

Q

消火器の管理はどうなっているのか？

A

消火器は2年前と3年前に新品と入替え、使用期限が10年なので、しばらくは入替え不要である。BOX等については自主防でも点検するが、壊れたものを見かけたら自主防に教えてほしい。交換は随時実施したい。

自主防の新体制は自治会長

兼務だった浅井副会長が半沢新副会長に代わり、担当業務を副会長のみとしたこと、浅井前副会長と事務局の対馬さんが安否確認班のリーダーになったことで、あとは任期が3年目のため、全員留任である。

なお今年の自主防役員は、全



自主防のみなさん



員新たに購入した役員用ユニホームを着用して総会に臨んだ。また総会資料には記載できなかった今年度の自主防災訓練は11月10日（日）に実施予定であることを報告した。



＊ 新任役員挨拶 ＊

# 新任役員挨拶

新副会長  
加賀谷秀樹



1年ほど前のある日、突然前会長がやってきて、「自治会の役員やらない?」「え!」でも暇だしやるかと決意。

それから1年「今度は、副会長を!」「(再び)え!」で今に至るわけですが、私にとつて色々な方と知り合いになり、非常に有意義な1年でした。

今年は一丁目の区長も兼ね、当初の「暇だ」がそんなことを言っていられない状況になりそうです。ともあれ、さらに人と知り合う機会を与えられたので、頑張ってみようと思っています。よろしくお願ひいたします。

新副会長  
岩崎 明正



このたび第31回通常総会決議により、自治会副会長に就任いたしました。

自治会設立から30年の節目が経過し、副会長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。

選任されましたうえは誠心誠意努める所存ですので、皆様のご支援とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。少子高齢化が進む中、子供にやさしい、高齢者が住みやすい、安全で安心な街づくりを努めたいと考えております。

新総務部長  
増田 健



総務部担当2年目にして部長を仰せつかりました。微力ながら一生懸命務めさせていただきます。

今年度は、副部長に越替、池上、太田の3名が加わり、新体制で担当業務に取り組みます。活動計画の割り振りが見直され、資源回収は今年度から総務部が担当します。

回収業者も変更し、回収方法も自宅前回収となりました。段ボールや牛乳パック等、貴重な資源の回収にご協力をお願い致します。総務部は、緑化の推進、たばこ・ごみのポイ捨て禁止の喚起など、生活に密着した活動も行っています。ご支援をよろしくお願ひ致します。

新事業部長  
原尻 文枝



副部長につづき、今年度は事業部長の大役を担うことになりました。

1年間の活動を通し、安全で住みよい街づくりに尽力された方々の足跡を辿るような貴重な経験ができました。

恒例の夏祭り盆踊り大会については、お子さんも安心して参加していただけるよう、秋のふるさと祭りとして昼の時間に開催致します。

12月には、恒例の信州直送のりんご販売を行います。子供達の楽しい思い出となり、様々な年代の方に楽しんで頂けるように計画していきたいと思っておりますので、ご参加ご協力をよろしくお願ひ致します。

＊ 新任役員挨拶 ＊

新環境部長  
小田木文雄



ニュータウンに住まって24年、班長経験が3回です。

班長の時、中央通りのケヤキの丸坊主剪定が始まり、市への抗議や、自治会長とお話しする機会があり、それが縁で、この度の環境部長への推薦に繋がったものと思います。中央通りのケヤキ並木、学園通りのイチヨウ並木はニュータウンの守りたい財産です。さらに家々の二段植栽や庭木、緑道、公園なども緑化規約として守りたい財産です。2017年には埼玉県の住みよい街ランキングでベスト3に入っています。ニュータウンの環境を守るために努力したく思います。よろしく願います。

新保安部長  
荒井 富夫



8年前に2丁目に引っ越しを参りました。

白岡駅前前の住まいから同じ市内への移動で、引っ越しと言うほどでもありません。今年初めての班長の当番となり、今までお世話になるばかりでしたので、この1年間は頑張らねばと覚悟していたところです。そこへ、班長ではなく本部役員をといわれて、班会議で相談したところ、班長は引き受けるから、そちらを務めて下さいとの事で、お受けする事にしました。初めての役で心配ですが、一生懸命勤めさせて頂きますので、宜しく願います。

新会計部長  
萱場 正之



引き続き会計を担当します。白岡ニュータウンには6年前の春に転居して参りました。

長年全国を転々として、今は緑豊かな美しい街並みのここに落ち着いております。この6年の間にも、新しい家が次々と建築され、今でも発展が継続しているようです。昨年は、自治会発足30周年の「記念式典」並びに「ふるさと祭り」と、大きなイベントを運営するお手伝いをさせて頂いていただきました。自治会の運営は初めてでも何もかも貴重な経験となりました。今後も白岡ニュータウンがさらに魅力のある街に発展しますよう、微力ではありますが貢献できれば幸いです。

新 監 事  
岡田 好弘



会計部を仰せつかり2年、月日の経つのは速く、あつという間でした。

皆様のお力添えにより、会計部としての任務を果たせました。心より感謝申し上げます。30周年記念ふるさと祭や、各種イベントへの参画で、沢山の方々とお近づきにもなれ、自治会活動を通じて様々な経験を、多くを学びました。ニュータウンは住みやすく、美しい街並も大好きです。そんな街作りにも少しでも役立ちたいとも思っています。今年度は、監事に籍を置いて引き続き自治会に貢献できるように努めます。皆様のご支援ご協力を、今後ともよろしく願います。



## \* 退任役員挨拶 \*

## 退任役員挨拶

## 前会長 浅井嘉一

災害の教訓から、平成26年防災会会長兼務を解消して、自主防は独立。災害時要支援を重要課題として民生児童委員とも連携、実態調査に基づき、独自の共助ネットワークづくりで活躍中！災害に強い街を目指しています。

自治会創立30周年は、記念誌の発行や式典のほか、秋の「ふるさと祭り」が記憶に新しく、メインスローガン世代超え気持ち繋がるふるさとへを掲げ、関連事業を展開。内外の市民に大好評。つつじ公園整備もそのひとつです。各位のお知恵とご努力、多方面からのご支援を戴き感激、忘れられません。

皆様のご健康とご多幸、白岡ニュータウンの更なる発展

をここからお祈り致します。自治会への変わらぬお力添え、何卒宜しく願います。

## 前副会長 村尾斉一郎

私は平成13年4月より、役員を引き受け続けてきました。が、平成29年7月に体調を崩して皆様方にご迷惑をおかけしました。以後体調が回復しないうちに、新年度の役員を辞退させて頂うことになりました。

白岡ニュータウン自治会はこの30年間、地域に進歩的な事業や、進言協力など尽くして参りました。ひとえに諸先輩方の功績や事業を引き継ぎながらできたことです。もちろん白岡ニュータウンの皆様方の協力があったからこそです。

ここに深く感謝申し上げます。挨拶といたします。

## 前副会長 飯塚牧三

私が初めて自治会役員として携わったのは、平成7年の阪神・淡路大震災直後です。

復旧活動に携わった経験を生かし、防災・防犯・交通担当部長として住民の安心・安全を図るところから始めた。

中でも防災を重要課題として、訓練に必要な資機材は全国宝くじ協会から資金を調達、行政の支援を受け基礎を築いた。

再び保安部長。副会長として、ストーカー、恫喝、空き巣被害等に取り組み、任期を全うすることが出来たのも役員・班長、自治会員の皆さんに支えられたからである。

なかでも30周年事業では、委員長代理として携わることができた。

40周年へと引き継ぐ「タイムカプセル」は、次世代を担う若者に希望を繋げる懸け橋

としての役目を込められたと考えている。

大変お世話になりました。今後は、一会員として協力や提案をしていきたい。

## 前事業部長 山田健一

私は2年間、事業部に携わってまいりましたが、アツという間の2年でありました。

特に、平成30年11月11日に行われた自治会創立30周年記念事業「ふるさと祭り」の成功のための会議、業者との打ち合わせ、担当者への説明、買い出し等に忙殺されました。

このイベントが皆様にとって「思い出に残る、楽しいイベント」にする為には何をしたらよいか、当時の職場の力を借り「ミニ新幹線」を誘致することが出来ました。

また、白岡ニュータウンに近い東武動物公園より、職員の方の協力を得て「ふれあい



＊ 退任役員挨拶 ＊

動物」コーナーを設けました。お年寄りからお子さんまで、楽しんでいただけるイベントが企画できたと思います。

10年後のあなたへのメッセージをお預かりするタイムカプセル、お楽しみスピードくじ等々。今までにないお祭りだったのではないのでしょうか。

自治会にとって大きな節目の年に役員を務めさせて頂き、多くの人に支えられ、近隣住民の方々とも絆を深めることができました。夢と思い出のアルバムを作ることができました。

本当にありがとうございます。感謝申し上げます。

前環境部長 野々口眞由美

「ニュータウン自治会ってすごいな」役員を退任した私が言うのもおかしい話ですが、そうおもった4年間でした。申込みをすれば実施してくれ

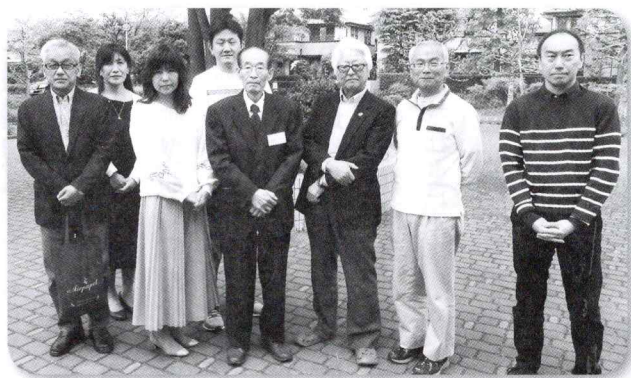
る生垣害虫駆除も集団実施やそれを自治会でとりまとめている地域はほとんどありません。環境部だけでなく他の部もこの街のことを考え様々な活動をしています。

そして、その中心になる役員は、殆どの方がくじ引きで決まった同じ住民の一人だということをお忘れはならないと思います。

30周年が過ぎ、今後さらに自治会活動を見直す時期に入ると思います。自分たちが住む街を良くするのも悪くするのもそこに住んでいる人々の気持ちや意識で決まると思います。

これからもみんなで協力し合いそして助け合い、より良い街にしていきたいです！

役員だけに負わせるのではなく、この街に住む一人として、私も一緒に考えていきたいと思っています。



退任されたみなさん

事務局 太田さん退任

自治会事務局業務をされていた太田さんが、今年4月で退任されました。12年間にわたり住民の皆様からの情報やご意見を親身になつて聞いて自治会活動にあたっていただきました。長い間、大変ご苦労様でした。なお、引き続き総務部副部長として自治会運営に携わっていただきます。

後任は2丁目在住の山田さんが務めることになりました。留任される渡辺和子さん共々よろしく願います。



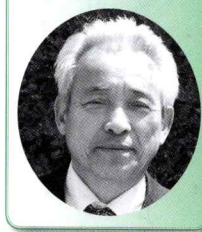


## 白岡ニュータウン開発秘話(第6回)

30周年関連企画

## 白岡ニュータウン開発秘話(第6回)

総合地所 所長 藤嶋進さん



## 「ニュータウンの誕生」

白岡ニュータウン誕生のターニングポイントは、昭和47年、畑和氏が埼玉県知事に就任、当時高校の進学率が高まる中『十五の春を泣かせるな』と宣言、高校大幅新設で白岡高等学校が認可された事と昭和62年の新白岡駅の開業であり、この街のスタートを語る時に、不可欠な出来事です。

畑知事の流入人口抑止策で新たな住宅街建設は良好な市街地形成計画以外は認めない「計画開発後追線引方式」を取っていました。白岡高校開校と浄水施設等をきっかけに関係機関と折衝を重ね、昭和59年8月「開発方式第一号」として埼玉県から認可を受け

ました。それは土地買収などから既に16年の歳月を費やしていました。

一方、新白岡駅は昭和61年3月の計画認可から翌年2月の新駅誕生まで認可から1年という超スピードでの開業。

国鉄から民営化移行という激動期を考えると、当時の荒井宏町長始め関係各位のご尽力とご努力の賜物と、感謝に堪えません。

## 『TV・FM共同受信(CATV)』

ニュータウンのもう一つの特徴であるCATVの誕生は、高岩公園の南側の高圧電線の影響でテレビの映りが悪く、それを解消する手段として有線放送化することになりました。住宅の屋根には受信アン

テナが乱立せず。景観上も美しい家並みが続いています。

しかも平成13年には、この有線設備を活用した自治会のICCh自主放送が総務省より認可され、今日に至っています。

まだご家庭にPCやホームページも普及していない時代、情報伝達に画期的手段として導入され、現在でも大切なツールとして大活躍しています。

## 『二段植栽』

昭和54年「ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例」は、高度経済成長期で都市化が進む中、緑地の減少対策で制定されました。ニュータウン開発での緑地対策として編み出され、地域の緑を守る地区計画が施行されました。

特に道路側の生け垣は、庭内の樹木が成長と共に道路側に張り出し、ご家庭を悩ませ、苦情の原因ともなります。

そこで境界線より内側に距離を離れた二段植栽の方式を考えました。昨今、駐車場確保や植栽の管理上、ご家庭を悩ませていたようですが、将来とも規約をご理解の上、堅持して頂ければ幸いです。

二段植栽は、2017年のグッドデザイン賞の審査でも高い評価を得て受賞に結び付いた事もご記憶頂きたいところです。

最後に、32年間未熟な私どもにいろいろご指導を賜り、地域に貢献頂いた歴代会長、役員の皆様、各ご家庭の皆様様に支えて頂きましたことを心より感謝申し上げます。

ニュータウンの益々の発展と皆様のご健勝をお祈りし、厚くお礼を申し上げます。ありがとうございます。

完



\* 白岡人物伝 渋谷塊一 その1 \*

特別寄稿 第三回  
**白岡人物伝**  
 農村経済更生模範村への道  
 渋谷塊一  
 しぶやかいいち  
 白岡市文化財保護審議会委員  
 板垣時夫



渋谷 塊一

白岡市の「母子愛育会」は、全国初の「愛育村」に指定され、その活動も顕著であります。今回は、この「母子愛育会」生みの親である渋谷塊一を2回にわたって紹介します。

1 回目は、日勝村を全国の「農村経済更生優良村」に導いた手腕を見ていきます。

明治26年（1893）、渋谷塊一は、日勝村（現菁莪小学校区）の岡泉で生まれました。そして、菁莪小学校、粕壁中学校（現春日部高校）を経て、

その一

板垣時夫

明治大学に入学します。

大学時代の塊一は、歌人北

原白秋門下の逸材として活躍

していました。

北原白秋の出版する文芸誌に

「渋谷香井」の作者名で作品が

多く掲載されていることでも

わかります。その有能な文学

青年が文学をあきらめ家業の

農業・製茶業につきます。

大正3年（1914）、明治

大学法学部を卒業して家業の

農業・製茶業に従事するので

す。これは塊一（土の固まり）

という名前を見れば分かるよ

うに、「農業一筋に生きて欲し

い」という父親の願いに従っ

たからです。しかし、日勝村

ではこの有能な青年を放って

おかず、村長を補佐する名誉

助役にしました。

昭和4年（1929）に発生

した世界恐慌が日本にも波及

し、昭和の大恐慌が起ります。

この頃日本では凶作や飢饉

が続き、特に農村は深刻な打

撃を受けました。

このため政府は疲弊した農

村を立て直すための「経済更

生運動」をすすめました。

昭和7年、日勝村の村長だっ

た渋谷塊一は即座に、「共存共

栄の理想郷実現」をめざし、「自

力更生五カ年計画」を立ち上

げました。

村全体が一致協力して土地

改良や耕地整理、用水路の整

備をして耕地を増やしました。

高価な肥料を買わず自給肥

料が作れるよう特に養豚や養

鶏をすすめました。

品質の良い作物を作る為に

指導者を招き、互いに教え合

いました。そして養蚕や製茶

などに加え、ナスやキュウリ

なども新しい特産物に加わり、各農家の収入も増え、村全体が豊かになったのです。

その他、立派な農業後継者

を育てる為に「青年修練道場」

を建設し、作業場・農具舎・

運動場つきの養豚舎・鶏舎な

どを整備しました。村民が読

書や勉強する為の公立の図書

館も建てました。

こうして、日勝村の「自力

更生五カ年計画」は大成功を

おさめ、昭和11年に内務大臣

より全国の模範村として表彰

されました。（次号につづく）



茶摘みをする子供たち



\* お知らせ \*

# ホームページ リニューアルのお知らせ



従来のホームページの閲覧にはIDとパスワードの入力が必要だった為、極端にアクセス数が少なく、情報伝達の役目を十分に果たせていないもどかしさがありました。

今回のリニューアルでは、アクセスの向上を図り、会員専用ページ以外はIDやパスワードを必要としないこと、及びスマホに対応したサイトにすることを目的としました。

ニュータウンも入居開始以来30数年を経過し、高齢化も

進み、売の家や貸家が増えて来て新しい住民を迎え入れなくてはなりません。多くの方に「住むなら白岡ニュータウン」と思ってもらえるように「安全・安心・綺麗・子供にやさしい」ニュータウンの魅力をアピールしたいと考えます。

総合地所の販売終了も間近になり、事務所もいずれ閉鎖されようというこれからは、我々の手でPR活動をしていなくてはなりません。

ホームページもその一つの手

段になり得るものと思います。もちろん、オープンにするわけですので、自治会の「ホームページ管理規約」に則り、適正に運用してまいります。

現在、インターネットは7割の人がスマホで見ていることです。画面の大きさに合わせて画像が縮小され、文章も縦長になるというスマホ対応のサイトにリニューアルしました。残念ながらPDFはスマホに対応していませんが、その他のページは全て対応していますので、ぜひスマホでもご覧ください。

また、全てのページに自治会事務局へのメールフォームを設置してありますので、お気軽にご意見・ご希望をお寄せください。エッセイ・紀行文・写真・趣味の紹介などなんでも結構です。

メールフォームでワードや画像などのファイルの添付も

できますのでお気軽にお送りください。

新しいホームページをぜひご活用ください。

「白岡ニュータウン自治会」で検索！

(広報部)

## 編集後記

いい季節になりました。生き物とドライブが好きな方には、栃木の足尾辺りがお勧め。シカやサル、アナグマにタヌキ、時としてイノシシにも遭遇できます。

白岡から二時間ほどの近場で、ワイルドライフを楽しむ、山奥で独り、物思いに耽るのもいいもんです。

広報部 中村